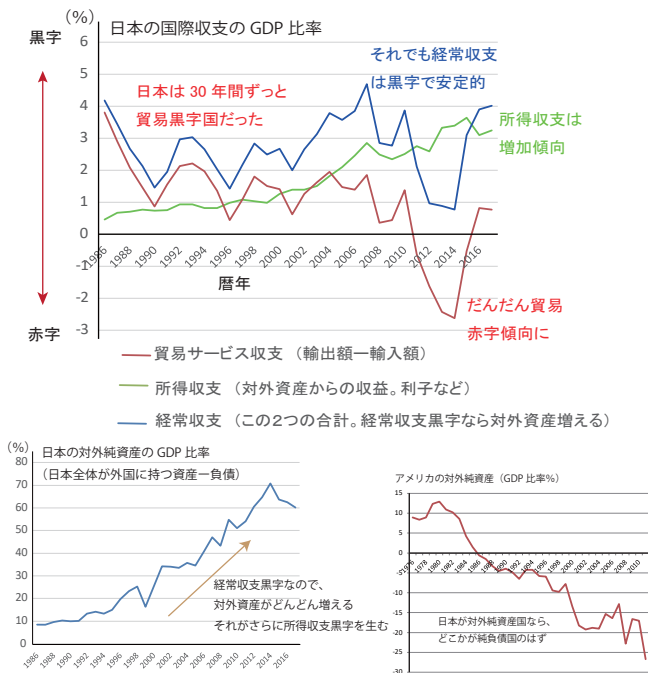


なぜ貿易不均衡は起きるのか？ データとシミュレーションで解明

社会経済研究所 教授 堀井 亮

①

日本や中国の対外債権は際限なく増加中
アメリカとの貿易摩擦・国際問題が発生。その理由は？



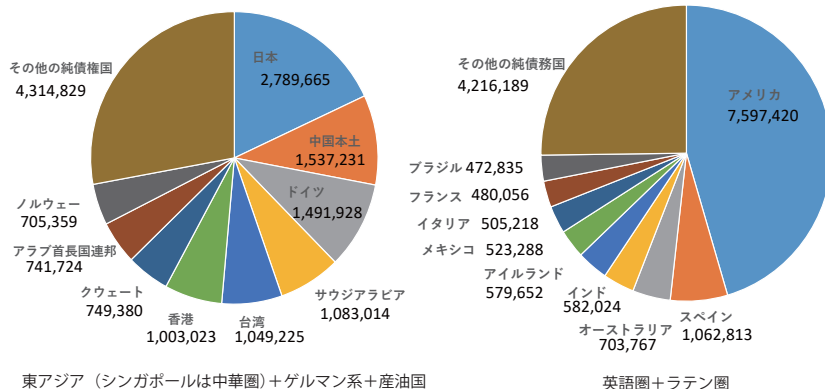
②

世界全体での不均衡はどうなっているか

世界の国を対外純資産国（資産＞負債）と対外純債務国に分類

対外純資産 上位 10 国（百万ドル）

対外純債務 ワースト 10 国

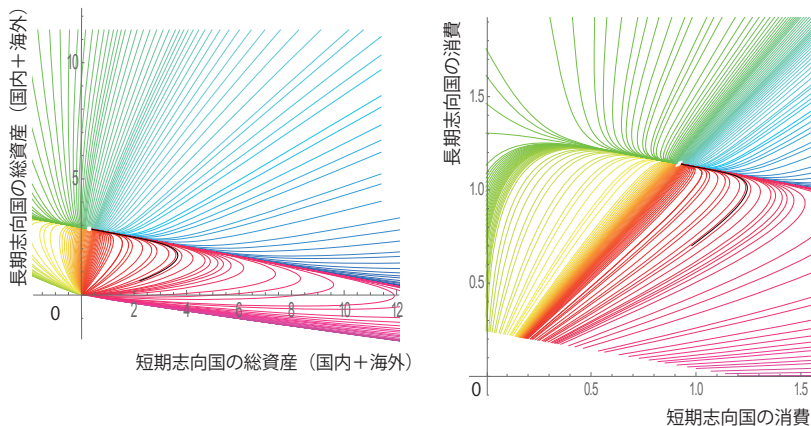


● 経済制度や経済力ではなく、文化・言語的な違いが不均衡の原因？

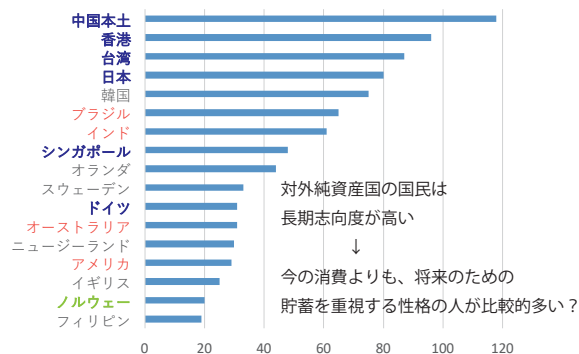
④ 長期志向度（時間選好率）の異なる2国マクロモデルシミュレーション

長期的な資産・消費の動きをモデル化（短期的な景気変動や為替レートの動きは含まず）

短期志向国（例：アメリカ）が初期時点において、長期志向国（例：日本）よりも相対的に豊かな状況を想定。



③ 長期志向度(Long Term Orientation)の国際格差



● 仮説： 長期志向な国民 ⇒ 貯蓄が多い ⇒ 消費＜生産
⇒ その差は海外に輸出（貿易黒字）⇒ 対外資産国に

これまでの国際マクロ経済理論：

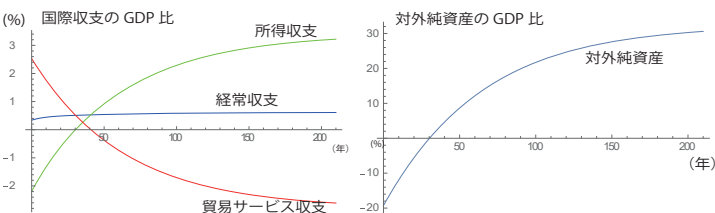
世界各国の人は本質的に同じ。不均衡が発生するのなら、環境に問題があるはず
⇒ 不均衡の原因を是正すべき！（トランプ政策？）

データとシミュレーションに基づく新しい国際マクロ経済理論：

世界各国の人の行動（性格・好み）は異なる

⇒ 不均衡は必然、無理に是正しないほうが、両国にとって便益がある

（今後もアメリカの対外債務が増えることを、アメリカに納得させる必要あり）



モデルによる将来予想： 貿易サービス収支は変動しつつも、長期的には赤字になる。しかし、対外純資産のおかげで所得収支はそれ以上のプラスなので、経常収支は若干の黒字基調になると考えられる。